

単元まとめレポート 単元名「 平面図形 一作図 」

単元の学習前と学習後を比べて、本単元の学習が、自分にとってどんな意味や価値があったのかを書こう

【単元の学習後】

☆私にとって(作図)とは、(とても達成感を感じるもの)である。

1時間目の授業が始まるのがすごくイヤだった。なぜなら、図形が小学生の時から苦手だからだ。今も得意というわけでは無いが、すごく作図は楽しいと今は思っている。

1時間目の授業から、4時間目の時は、班の人に教えてもらってからは、理解している感じがした。教えてもらってから、家で何度も見直して、何度もといてみた…。作図は楽しい。全然楽しくない。自分1人でとける問題がない。と思っていた。

でも、ある時、自分の力でとくことができた問題があった。それは、 00 度の作図という問題だ。 135 度の作図をする時は 90 度と 45 度とを考えるととくのだ。今まで、習って、何度も、とく直した成果がやっと現れた!とあった。 90 度は、垂線を引いて授業を思い出すと分かるし、 45 度は、 90 度の半分、つまり 90 度の角の二等分線をひくとできる。この考え方が頭に思い浮かんだとき、はじめて作図が楽しくて、わくわくするものだと感じた。

その後、いろんな問題をとくときも、習ったことでどうにか考え方を、あみ出しといてみた。教壇上で問題をとくとき、小学生のときとはちがって、まるで別人がのちに、楽しくわくわくした気持ちでとくことができた。分からない問題も少なくなってきた。今では、作図がイヤでは無いです。むしろ、楽しい…!

今回の単元のうちに、最初は、全く分からなかった作図が、これからは、出てくると思うが、今の、作図に対する気持ちを決して変えずに、少しずつでも理解していき、作図がもっと楽しくなるようにしたいなとあった。これからの単元で、作図の魅力を、もっと深く考えていきたい。

この単元の内容について、五・七・五調で表すと…

【五・七・五】	これからは 作図をもっと好きになる
【理由】	今回の単元で、作図がイヤなものから、楽しいものになったので、これからは、もっと作図が楽しいものとして、好きになりたいたい。